



笑顔を広げる滋賀のパーパス県政アクション 第1弾 キックオフ！

歩行者よし、ドライバーよし、社会よし！三方よしの横断歩道

「パーパス県政の実践」に挑戦する若手職員有志の提案により、これまで取り組んできた「横断歩道利用者ファースト運動」に、「滋賀県職員の志(パーパス)」の理念を取り込んだ新スローガン「歩行者よし、ドライバーよし、社会よし！三方よしの横断歩道」を掲げ、県民と共感し、県民と共に創る新しい形で同運動に取り組めます。

これまでの取組との違い

「横断歩道利用者ファースト運動[※]」は、これまで県民へのチラシ配布や呼びかけ等、順法意識の啓発を中心に取り組んできましたが、それに加え、今後は県職員が率先して実践し、県民の皆さまに少しずつ共感の輪を広げ、職員と県民の共創により施策の目標を達成します。

※ 信号機のない横断歩道において、ドライバーは歩行者を見かけたら停止し「渡って下さい」と意思表示して道を譲り、歩行者は横断時に手を挙げるなどの意思表示をし、ドライバーに謝意を伝えるようにすることで、安全確保と交通事故防止を図ります。

県庁内での取組内容

- まず土木交通部各所属(本庁9所属、地方9機関)の公用車約200台にマグネットシートを貼り、出張時に県民に向けてPRします。(※他部局の公用車にも順次展開していく予定)
- 職員は公私とも運転時に、信号機のない横断歩道で歩行者が待機していた際、率先して車を一時停止することを実践します。



今後の予定

- 令和6年10月25日から順次、マグネットシートを配布し、運動のPRを開始します。
- 目標はまず近畿No.1(現在3位)。将来的に全国No.1(現在27位)を目指します。

その他

- 「信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止状況全国調査」(2023年調査結果)(2023年JAF調査)では、滋賀県の停止率は46.3%。(全国平均:45.1%)
- 近畿府県においては1位兵庫県、2位奈良県、3位滋賀県。